

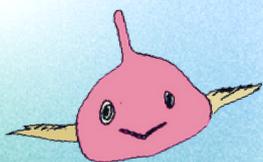


せっけん運動

発行：せっけん運動ネットワーク
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目4-17
生活協同組合あいコープみやぎ内
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973

せっけん運動ネットワーク（旧協石連）は、せっけん使用を入り口に、水環境を守る視点から幅広く暮らしを見直そうと活動する、漁協、農協、生協など、全国50団体の協同組合によって構成されている組織です。

2023 シャボン玉フォーラム inみやぎ



好きだっちゃ せっけん！のぞいてみっぺし東北の海
～3.11震災後の海からのメッセージ～

基調講演

『青い地球(ほし)の
生命の物語』

水中写真家 鍵井靖章さん

報告会

重茂漁業協同組合 盛合敏子さん
(株)アード・ブレン 佐藤圭さん
生活協同組合あいコープみやぎ
佐藤あきなさん

パネルディスカッション

～コーディネーター～
生活協同組合あいコープみやぎ
原子良恵さん

～パネリスト～
水中写真家 鍵井靖章さん
重茂漁業協同組合 盛合敏子さん
(株)アード・ブレン 佐藤圭さん
生活協同組合あいコープみやぎ
高橋千佳さん

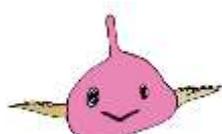
2023 シャボン玉フォーラム in みやぎ

報告集 目次

●開催趣旨	1
●プログラム	2
●基調講演	3
青い地球の生命の物語	
●報告会・パネルディスカッション	16
●オープニング、お土産紹介	27
●参加者からの感想	29
●せっけんアクション	30
●参加団体一覧	38
●会場周辺案内図	39
●次回開催地案内	41
●後援	43
●交流会報告	44
●会場参加者集合写真	45



ダンゴウオちゃん



ダンゴウオくん

2023 シャボン玉フォーラム in みやぎのキャラクターは、生活協同組合あいコープみやぎ組合員のお子さん、佐藤舞さんと原子陽くんのデザインです。



開催趣旨

「好きだっちゃ せっけん！のぞいてみっぺし東北の海」

～3. 11震災後の海からのメッセージ～

をテーマに、2023シャボン玉フォーラム in みやぎを開催します。

生活協同組合あいコープみやぎは、1979年の生協設立当初から合成洗剤を扱わない石けんは生協です。「より安心、安全な食べ物がほしい」「ごまかしのないものを作りたい」という消費者と生産者が結びつき、人、食、環境を大切にする持続可能な社会のために、日々活動を続けています。

宮城県は、おいしいお米がたくさんとれる米どころであり、西の奥羽山脈から流れる大きな河川が命の源の水を運んでいます。太平洋に面する沿岸はリアス式海岸で、牡蠣などの養殖が盛んであり、海の恵みも豊かな場所です。中心部の仙台市は杜の都と呼ばれ、街並みにも緑がたくさんあります。12年前の東日本大震災では、沿岸部を中心に大きな被害がありました。普通に生活できることのありがたさを感じると共に、このままではいけない、私たちになにができるのか、とより一層考えるようにもなりました。マイクロプラスチックによる海洋汚染、福島第一原発事故のアルプス処理水放出問題など私たちの生活に欠かせない水環境をとりまく状況は深刻な問題が多くあります。これからの地球、子どもたちの未来のために、私たち1人ひとりにできることは何かをみんなで考えていきましょう。

2023 シャボン玉フォーラム in みやぎ

実行委員長 原子良恵

■ 講演会プログラム

- 12:30 開場・受付開始
- 13:00 開会～ オープニング「仙台すずめ踊り」
- 13:05 開会挨拶 せっけん運動ネットワーク代表幹事 高橋千佳
シャボン玉フォーラム in みやぎ実行委員長
生活協同組合あいコープみやぎ理事 原子良恵
せっけん利用伸長率優秀団体表彰
- 13:20 基調講演
水中写真家 鍵井靖章氏
演題「青い地球（ほし）の生命の物語」
- 14:50 休憩（パネル展示見学）
- 15:20 報告会
① 岩手県漁協女性部連絡協議会会長
重茂漁協女性部 部長 盛合敏子
② (株)アーダ・ブレン代表取締役 佐藤圭
③ あいコープみやぎ 石けん環境委員会理事 佐藤あきな
- 16:00 パネルディスカッション
<パネリスト> 水中写真家 鍵井靖章氏
重茂漁協女性部 部長 盛合敏子
(株)アーダ・ブレン代表取締役 佐藤圭
生活協同組合あいコープみやぎ理事長 高橋千佳
- 16:50 閉会挨拶 シャボン玉フォーラム in みやぎ実行委員長 原子良恵
- 17:00 閉会
(交流会会場へ移動となります)
- 18:30 交流会
- 20:30 交流会終了

■ パネル展示 12:30～17:30

会場には、基調講演講師の鍵井靖章さんの写真パネルの展示を行います。
開始前後や休憩時間にどうぞご覧ください。

■ 交流会 18:30～20:30

会場 伊達なおもてなし DUCCA 仙台駅前店
(宮城県仙台市青葉区中央 3-6-10 フージャス仙台駅前ビル 3F)

【基調講演】

青い地球（ほし）の 命の物語



水中写真家 鍵井靖章氏

青い地球(ほし)の命の物語

皆さん、こんにちは。水中写真家の鍵井靖章です。まず最初は、僕が世界中の海で出会った海の生き物との出会いを話させていただいて、その次は、海洋プラスチックかな。その話を、その後は、今回のテーマでもありますが、僕、震災直後からずっと宮城県、岩手県の海に潜り続けていて、先月も二週間ほど前も潜っていたんですが、その様子など皆さんにご報告できればいいかなと思っています。皆さんを飽きさせないようにしたいと思いますが、頑張りますね。

皆さん、こんにちは。水中写真家の鍵井靖章です。まず最初は、僕が世界中の海で出会った海の生き物との出会いを話させていただいて、その次は、海洋プラスチックかな。その話を、その後は、今回のテーマでもありますが、僕、震災直後からずっと宮城県、岩手県の海に潜り続けていて、先月も二週間ほど前も潜っていたんですが、その様子など皆さんにご報告できればいいかなと思っています。皆さんを飽きさせないようにしたいと思いますが、頑張りますね。

ね。あそこ、沖縄本島の南で撮影したクジラです。これ、下の母クジラは大きさをいって、バスより大きいかな。上が子クジラか。光がとてもとても美しく。大体これぐらいになったら、母クジラのほうが僕存在に気付いて、子クジラと一緒に深場に逃げて行くこうとするんです。この時僕、撮影しながら思っ



たことは二つで、なんて今日は光が美しいんだ、っていうのと、お母さんクジラ、このまま僕を許して、子どもと一緒に僕の目の前まで上がってきてください、というその二つがその時考えていたのかな。水中写真家、そんなもんですよ。でも、この辺でもう逃げられたのかな。この辺ぐらいいからもっと僕に近づいてきて、そのまま浮上してきて。光がきれいだなあって言って、ちょっとこれではわからないかもしれないですけど、もうこの辺で親クジラと子クジラと目が合ってるんですよ。うわあ、見られてるー、とか思いながら。こんな風に見てい

ただきました。うわあ、水中写真家っていい仕事やなあって思われるかもしれないですけど、例えばこれって三日間ずっと海の上で待って、その出会えた一瞬ってこんなもんなんです。全然収穫が上がらなかった三日間だったけれど、このシーン、このワシシーンに出会えたことで、僕の三日間は全て救われた、そんな感じの生活をずっとしているのかな。水中写真を始めて、僕は三十年経つのかな、三十年間ずっとこんな生活をしております。

水中写真家としての三十年

一番最初は海の話をするって言いましたが、ちょっと僕が今年の二月に沖縄で撮影した生き物を見てください。皆さん、わかりますか？何だか。これは、実際に僕が今年の二月に沖縄の糸満、ひめゆりの塔とかがある糸満エリアです



世界中の海で出会った 生き物たち

水中写真家、水中カメラマンですけれど、基本ダイビングがっていつて、背中にタンクを背負って、レギュレーターっていうものを啜えて撮影をしています。これは沖縄ですね、沖縄で撮影しています。カメラはこんな感じですよ。



皆さんが使っている普通のカメラ、でも最近ではiPhoneとかが多いから、一眼レフとかってあまり使われないかもしれないですけど、僕は一応プロカメラマンということで、

一眼レフのカメラに、すごい屈強な防水ケースをつけて潜っています。このようなものを持って行っています。一個大体八キロぐらいかな。で、二つ持つて入るから、十六キロぐらい持つているんですけど、なんか写真家なんてかっこいい職業かなと思うかもしれないですけど、正直言ったらただの肉体労働者です(笑)。

これは、メキシコで撮影した一枚なんですけど、(写真下)カリフォルニアアシカちゃんを撮影しています。このアシカちゃん、全然野生です。水族館でもないし、餌付けされていないやつでもないし、野生のアシカちゃんなんですけど、アシカって本当に個性があって、性格も様々で。僕の顔を見るとプイッと逃げて行くやつもいるけど、そうじゃなくて、ワンちゃんのように僕にまとわりついてきてくれる子もいるんですよ。これ、僕の周りにまとわりついてきてくれたアシカちゃんとの撮影、これ自撮りをしているんですよ

けれど。僕って、宮城県の石巻市に本社がある「モビーデイツ」というウエットスーツにスポンサー出してもらってるんですよ。皆さん、気が付かないかもしれないですが、ここにモビーズって書いてあ



るんですよ。これ、背中のウエットスーツの引っ張ってあげるやつね。このアシカちゃん、めちゃめちゃわかつてるでしょ?(笑)。もう、後から写真見て、なにこれ、俺のスポンサーまで気にしてやってくれてんの、このアシカちゃん、と思って。ただ一個間違えてるのは反対向きなんですけどね(笑)。僕はいろんな方

にお世話になって撮影している。次行きましょう。

ダイビングじゃなくって、マスクとシュノーケルとフィン、その三点だけをつけて海の中に行くこともあります。割と海に近いラフな感じで撮影することもあるんですけど、実際に僕が撮影した写真を見てください。こんな感じですよ。



大きさはね、割と大きい生き物で、マンボウ、めちゃめちゃかわいかったですね。実は宮城県沖とかでもマンボウって泳いでいるんですよ。またいつか三陸沖のマンボウ

にも会いに行きたいな。顔だけが泳いでいるような、ちょっと気持ち悪い魚でした。僕ね、気持ち悪って言葉いっぱい使うんですけど、割とね愛情込めて言ってるんで、そんな風に聞き留めてください。

次は、日本の水族館でも何匹か飼われている、今生きている魚類の中では一番大きい魚、ジンベエザメです。これ僕撮影したのは、タイにタオ島ってバックパッカー、リュックサック一つで世界中を旅する若者たちが集まる島があるんですけど、そこに割とジンベエザメがやってくるんですよ。世界各国からリュックサック一つでタオ島ってとこに行つて、海に行つたらジンベエザメに出会えて、ジンベエザメは優雅に泳ぎながら、その世界中のみんなの前に幸せを与えながら、みんなの間を泳いでいくみたいな感じなんです。なんか、ジンベエザメが出てきただけで、その水中の、なんていうのかな、言いたいことわかるでしょ。

周囲の雰囲気が一変するの。それぐらい魅力のある生き物です。



これ、マンタという生き物なんですけど、写真を見てください。これ、マンタが大ききな口を開けてプランクトンを食べているところなんですよ。まさしくこれが、そこなんです、そういう時なんですけれど、なんか、やっぱり世界中、海ってすごい広いじゃないですか。でも彼らはその海流とかそういうのを計算して、どこにプランクトンがあるかっていうのをしっかりわかっていて。プランクトンがギュッ

と集まっているところには、そこを僕たちが見つけ出すと、そこに行くのと、やっぱりマンタたちもしつかりやってきて、そこで捕食を繰り返すんですけれど。あの捕食をしているマンタ、接近して撮影してみました。こんな感じですよ。人間もそうなんですけど、食べることに夢中になっていたり、もしくは体についている寄生虫とかあるんですけど、それを食べてくれるお魚とかあるんです。クリーニングとか言われるんですけど、ご飯を食べているとか、クリーニングをされている時っていうのは、意外と警戒心が弱くなってる、僕ら写真を撮る人間からしてみたら、それがまあシヤッターチャンスでもあるんですよ。このマンタも、まさしく海水と一緒にプランクトンをこの大口からわぁーっと食べて、この黒いところで、ここね、エラでプランクトンを濾しとって海水を後ろに流す、というような行為をしている時なんですけれど。この

後彼は、彼が彼女かわからないですけど、身をひるがえして、僕の前で宙返りをしたんですけれど、ハイ。まあ、撮影しながら、僕は宇宙に行ったこともないし、ブラックホールとか知らんけれど、宇宙船とかね、ブラックホールとか、いろんなことをちょっと思ったりしながら撮影をしました。

これもおんなじマンタなんですけど、さっきのは夢中で餌を食べているマンタ、元気なマンタなんですけど、これはどちらかというと石垣島で撮影した、傷ついたマンタの一枚なんですけれど。



僕は本当にこの三十年間、世界中でマンタに出会ってきたんですけど、正直言うところになに傷ついたマンタを見たことはなかったんですよ。

それも日本の海である石垣島で。石垣島のね、漁師さんに言われるんですよ。こんなサメがいてる海危ないのに、ようダイバー潜んなあ、ダイビングするなあって。かと言って、僕らが石垣島で潜ったからってそんなに凶暴なサメとかに出会うことはまずないんですけれど。でも、石垣島で撮影したこのマンタのこの姿を見てると、他ではこんなに傷ついたマンタは見ないのに、やはり石垣島ってね、夏とか時々ニュースで駆除されている映像が流れますけれど、あの、割とこう凶暴なサメがいる海なんだなっていうのを認識したりするんですけれど。この一枚で何を皆さんにお伝えしたかったかっていうと、僕って海の中で海の中の生き物を撮っているカメラマンじゃないですか。僕ね、この一枚を撮った時に、本当に思ったんですよ。海の中で、海の生き物に対して、こんな気持ちで撮影できるんだって。自然環境、海とかめっちゃくちゃ厳し

いじゃないですか。こんなにサメにかじられて、頭のとこにヒレとかあるんですけれど、それともぎかけているんですよ。海の中で出会った生き物ともう一度出会うことって漠然とないだろうとは思っていたりもしたんですけれど、まあこのマンタに関しては、本当にもうこの子と出会うことはないのかもしれないなあと思って。割とこう祈るような気持ちで海の中で写真を撮れたんですよ。水中写真家になって、まさかそんな気持ちで海の生き物に対して、そんな気持ちでシャッターを切ることがあるんだっていうのを、僕この撮影をしたときに気がかされて、よかったなあ、ありがたいなあって。

次の一枚行きますね。これはいわゆるホホジロザメですね。きつと皆さん小さいころジョーズとか観て人食いザメが怖いから海に行くのが怖い、足のつかない海で泳ぐのがなんて怖いんだっていう経験とかね、そんな思いもされたこ

とがあると思います。まさしくやっぱ僕もそうで、そんな僕が水中写真家なんていう職業を選んで、この凶暴なホジロザメに会うために、南アフリカ、オーストラリア、メキシコまで行ったのかな。



一つだけいうと、このホジロザメ、口開けてわあって向かってきているじゃないですか。僕はこの時檻に入っているんですけれど、檻の鉄をひん曲げるくらいケージにぶち当たってきたんですけれど。これってね、単純に言うとも餌付けなんです。要は船の上から

さ、大きなツナとか投げたり、ちよつと血の汁を海の中に流したりして、どちらかというところ、僕らバカな写真家たちが撮りたいなって思う絵を作った写真だったりするんですよね。僕、何が言いたいかって言ったら、実はそんなことしなかったら、彼らはこんな風に僕らのことわあって襲ってくることなく、ただただ悠然に青い海に泳いでいるんです。それって、他のサメとは全く違う体のサイズで強靱なあごで、漆黒な瞳で、体から溢れんばかりのエネルギーを感じるような生き物なんです。何が言いたいか言ったら、俺がポチャンて海の中に入ったからって、ホジロザメが口を開けてわあって俺に襲ってくることはまずないんです。これは、僕らが間違ってる皆さんにお伝えしている写真かもしれないし、普通に海の中で出会うと、もちろん彼らのお腹が減ってた

ら別かもしれないですけど、ただただほかの生き物と変わ

らないぐらい優雅に泳ぐ美しい生き物だなんていうことをちよつとお伝えしておきたいかなって。かつて、ジョーズの映画を作った原作者が、ジョーズを作った失敗してしまつたと。ホジロザメを悪者にしてしまったというのを後年書いていたのをなんか見たことがあります。



メキシコです。ロスアンゼルスの下に、バハカリフォルニア半島っていうのがあって、そこにラパスという町があるんですけど、僕はこの街にこの子に会いに来ました。水族館でコミカルな演技をしてくれる子たちですよ。そう、

ちゃんと僕のスポンサーを理解してくれている、カリフォルニアアシカですね。僕は、コロナ前は毎年十月にこのカリフォルニアアシカに会いに行ってたんですけど、大体毎年六月に生まれるんですよ。六月に生まれて十月に生後四か月、その生後四か月ぐらいになると、すごーくすごーく好奇心旺盛になって、僕たちダイバーの前に現れてくれるんですけど、最初に言いましたが、全てがすべてこうやって出てきてくれるわけじゃないんです。俺の顔見た瞬間にわあーっと思ってビュって逃げて行くやつもいるし、でも、あなたはだあれ？みたいな感じで来てくれる子もいて、それはそれは幸せな時間なんですけれど。アシカって、

一頭のボスが百頭とか二百頭のメスや子供の頂点でボスになって、長になっているんですけど、そのボスです（写真下）。憧れです。いや、でもほんま、海の中でこの人とか見てたら、うわあ、男ってこ

うならなきゃあかんねんなあとかかって思いながら、勉強になります（笑）。こんな感じで赤ちゃんかわいいなあって思ったり、ボスにいらまれて、奥さんに手出さずにゆっくりやりますとか言いながら、撮影してます（笑）。



忘れられない出会い

ある日、忘れられない出会いがありました。遠くから見ただけで、俺らカメラマン、想像力だけ豊かなんで、うわあ、アシカの花嫁がいるなあなんて思って近寄って行った

ら、なんてことはない花嫁じやなくて人が捨てた漁網？網ですよ。それをかぶっているアシカちゃんがいて。うわあ、と思つて。



これ、寝ているように見えるんですけど、本当に寝るときは岩の上がって寝るんで、どちらかというところ、日向ぼっこしてるんですよ。僕が手を伸ばして、この網をとってあげたいなと思つて近づいたら、近づいた分だけ向こうにサーッと行ったのかな。結果、僕はこの網を取ってあげることができなかったんですけれど。で、この子が岩の

上上がった居眠りを始めて。その居眠りしている顔が、表情が可愛ければかわいいほど、なんかより申し訳ない気持ちになつたというか。このあと僕毎年行つてたんですけど、この子は亡くなつてるとは絶対思わないんだけど、同じ時期に同じ島にこれから四年間ぐらいずっと行つたかな、残念ながらこの子には会つたこととはできなかったんですが。まあまあどつかで元気にしていること、もしくは、僕より勇気のある人が網を取つてくれることを願つたりするかな。次は、海のエリアで言つたらグアム周辺で撮影した写真を見てください(写真下)。わかりますか？メジロザメという野生のサメなんですけれど、なんか、口のところになんだかわからないけれど、ゴムのような柔らかい素材のものを啜っていたんですよ。野生のサメって、なかなか接近することを許してくれないんですけど、なんか知らないですがこのサメはめちゃくちゃ寄

らせてくれたんですよ。いやあ、まあ正直言つて取つてあげたいなつて気持ちも大きかつたんだけど、やっぱ怖いつていう気持ちも正直あつて、やっぱこれも取つてあげることはできなかったんですけど。サメって後ろに泳ぐことはできないし、常に前に泳ぎながら呼吸をする生き物だつていうし、きつとこの子はね、餌を食べることはできないだろうから、次に出会うことはなかなと思つていらっしゃるんですけど。



なかなか、僕たち人間生活の先にある事柄として、こういうのもあるなつて。なかなか

かこういう写真つて、正直言つて写真集とかにもなりづらいし、なかなか発表とかもしづらかつたりして。僕、割と中学校とか高校に講演会でよばれることがあつて、そういうとき皆さんに、こういう写真とか学生さんたちにこういう写真見てもらつたりするんですけれど。まあ誤解のないように言うと、海の中の生き物が全てがすべてこうではないんですよ。例えばほら、よくあるじゃないですか。カメラの鼻の中にストローが突っ込まれて、プラスチック大丈夫か？みたいな写真あるじゃないですか。僕、じゃあ海の中で見たことあるか言つたら無い。誤解のないように言いたいのは、これが全てではないよ、けれど僕が見た事実はここにもありますよつていうことをお伝えできればいいかなと思つたりするかな。

を釣るエギつていうのかな。ルーアミみたいなやつ。それが引つかかつていたんです。これ、この後一緒に潜っているガイドダイバーさんが、このハリセンボンを捕まえてこのエギを外してくれたんで、それはちょっと良かったかなと思つてました。



これは、そのハリセンボン(写真下)。和歌山で撮影したんですけど、ハリセンボンがいて、目のところに、イカの

あと、やつぱり僕らつて潮の流れが速いところで潜るとお魚がたくさんいるので、そういうところを好んで潜つたりするんですけど、やつぱりそういう所つて良い釣りの場でもあつたりするのかな。割とこうしつかり釣られずに、途

中で糸が切れてしまつて、僕はこれを不都合なアクセサリとして呼んでいるんですけど、切られてしまった針とかをくつつけて、そのまま生活をしている生き物を見ることが多々あるかな。

ダイビングのライセンスを発行している団体が出している資料に、ごみが自然界で分解されるのに要する期間というのがあつて、多分これ、海中だけのことではないとは思ふんですけれど、例えばガラス製のボトルは百万年かかんないとこの世界からなくなりませんよと、モノフィラメントの釣り糸は六百年、でも釣り糸はたぶん溶けてなくなることはないと思うから、目に見えないマイクロになつて漂っているんだなと思つたり。プラスチック製の飲料ボトル、四五〇年、アルミ缶八〇年とか、まあ、なんか何もしなかつたらこれぐらい自然界に残りますよつていう資料です。まあ、海中世界を覗いてみると、例えば向こう側は、百万

年かからないとなくならないガラス製のボトルであつたり、こっち側は八〇年かかんないとなくならないアルミ缶であつたりとか、そういうものを魚たちは利用しながら生活していたりしてるのかな。文句ひとつ言わず。それがなんか辛いつていうか、申し訳ないと思つて。



これもちょっとわかりづらいかもしれませんが、これ、沖繩にいるクマノミちゃんなんですけど、イソギンチャクのここには、通常ならば丸い石が置いてあるんですけれど、ここは、クマノミちゃん

たちは丸い大きな石を選択せずに、持ってきたのがこれだつたんですよ。空き缶ですよ。その空き缶にクマノミちゃんたちが卵を産み付けて、これは何をしているところかつて言つたら、親が新鮮な空気を吹きかけて、卵が育つていくのを促している、そんな感じだつたりするんですよ。

海とプラスチック問題

パネルディスプレイでもマイクロプラスチックの話は出てくると思いますが、皆さんご存じですよ。細かく砕けていって、紫外線を浴びて、環境ホルモンになつていく、それが今、僕たちの体はどう影響していくのかつていう話ですよ。なんか、魚のお腹からプラスチックが出てくる写真、こういう資料がよく出てくるわけじゃないですか。本当に魚の中掻っ捌いたらかんなん出てくるのかなと、かつてちよつと思つ時があつ

たんですよ。僕も別に家で料理をしないわけではないので、魚とかを触つてみたりするんですけど、まず出てこないなあとかつて思つて。ん？とかつて思つて、よっしゃー、じゃ、豊洲のね、あの友人に聞いてもらおうと思つて、豊洲の仲買？つていうのかな、聞いてもらつたら、いやいや、そんなん出てこーへんよつて言つてたでよつて、言われて、へー、そうなんだつて思いながらも、今年の初めかな、北海道の漁師さんの友人がいて、漁師さんと海の話をしてたら、鍵井さん見てくださいよーつて、空き缶とかを丸呑みしている魚が釣れた写真とか見せてくれるんですよ。まあまあ、それはそうだよねつて思つて。こんな写真は出てこないかもしれないけど、実際問題として、目に見えない海洋ごみとかは、確実に魚たちは口の中に啜えていつてるんだなつていうことはちよつと知つたかな。

ま、よく言われるのはね、

僕たち目に見えない微細なものがマイワシの中に入っていると、ね、これは皆さんも知つている周知の事実だと思ふんですが、じゃ、実際僕が足を運んで何を見てるのかつていうと、こんな感じですよ。



これはインドネシアのアンボンつて言つて、インドネシアの中でも割と大きい街なんですけれど、そこに僕はダイビングの取材に行くんですよ。海はすばらしいですよつていうのを雑誌で紹介するために行くじゃないですか。行つたらこんなです。でもこの下にはね、本当に素晴らしい海

中世界が広がっているんですけど、まあ潮の流れ次第ではこんな風になっちゃうのかな。で、講演会とかでこういうのを中学生とかに見せて、僕たち知らないと思いますが、世界の海はこんな風になっているんですよ、とかって言うじゃないですか。言った後に、講演会終わり、もしくは最後のメッセージみたいなので、「鍵井さんはこの景色を見て、何のアクションも起こさないんですか？」ってきたんですよ。なるほどなあと思って。

言うだけ言って、めちゃくちゃ恥ずかしくなって、僕その中学生の女の子の言葉に。で、僕もう一回行ったんですよ、ここに。なんかもう、大人しっかりしようぜとか思って。そんな時の気持ちとしては、微力でも何かできたらいいなと思って行ったんですよ。で、翌年行ったら、こんだけあったゴミが一切ないんですよ、海に。やっぱり風の風向きとか潮流によって発生するときに発生しない時があるらしく

て、と言いながらも、僕はダイビングセンターの人とか地元の人とかに、これじゃないすんの？とか言ったら、いやいやもう川の河口で塞き止めるのを始めたからちよつと変わってくると思うので、っていう言葉だけ聞いて、そっかあって帰ってきたんですけどね。そうこうしているうちにコロナになったわけじゃないですか。コロナになって、僕は国内の海に目を向けることが多くなって。



この四国にある宇和島っていうところによく行くようになったというか、SNSを見

てたら、ある強烈な海岸線があって、日本の海岸線にもこんな場所があるんだと思って、実際に足を運んだのかな。瀬戸内海のごみですね。だから、沖繩とかに漂着する隣国のごみではなくって、どちらかというと、瀬戸内海に面している日本のごみとかがたくさん見受けられたかな。僕は最初、SNSを見て行ってみたくて、すごい衝撃だったんですよ、正直言って。これは俺も見な

あかんけど、学生も見たほうがええなあ、若い子も、と思って。なんか、東京ディズニーランドとかユニバーサルスタジオもエンターテイメントがあって素晴らしいけれど、もしよかったらこういう所に足を延ばす機会を持ってもらったほうがいいのかなとか思いながら見ていました。これは何かっていうと、水面近くで撮っているプラスチックのごみなんです。で、アオリイカがこんな感じでご

みと共存していました。



カレイの幼魚も、若い時は水面下で生活してるんですよ。その水面下に流れているプラスチックとか、まあそこで食べることはないと思うんですけど、僕が見ている世界では、あんまり目に映らないかもしれないけれど、海面下にある海洋ごみ、漂っているたくさんさんの海洋ごみと生き物たちが寄り添って共存して生きている、そんな感じの世界を見ることができます。

海洋ごみと向き合う

僕、今割と日本で撮影しに行った場所でごみ拾いをしてるんですよ。要はダイビングが終わってからごみ拾いするんですよ。まあまあ、僕という水中カメラマンがいるじゃないですか。ダイビングして海の中の生き物たちとすぐく楽しんで、終わった後、通常すぐ酒飲み始めるんですよ。お、楽しかったなあ、今日も。あれ、かわいかったなあって言いながら。そうじゃなくて、海を見終わった後に、ちよつと僕今からごみ拾いしに行くんやけど、みんな行きませんか？って言うじゃないですか。言ったらほぼ断られることはないですね。たぶん、一回ぐらい断られたかな、誰かに。でもほとんどの人は、そのダイバーの仲間たちは、初めて会った人であったとしても、えー、まじっすか、鍵井さん行きます行きます、俺も行

く！みたいな感じで、どちらかかっていうと待ってました！みたいな感じでね、僕につきあってくれるんですよ。俺、すっごく嬉しい気づきだなあと思って。やっぱ、自然の中で遊んでいる人たちって、心のどっかでちょっと自然に対して恩返しをしたいんだなっていう気持ちがあるんだなっていうことがわかって。ごみ拾いをするのも大切かもしれないけれど、こんな感じではないけれど、みんなの心があるって気付けたのも、すごいよかったかな。ほんとだったら酒飲みたいんですけどね（笑）。

拾ってきたごみは、現地で処理してもらおうゴミもあるんですけど、僕は、そのごみを使ってインスタレーションっていうか、ちょっと今の海はごみと美しい景色と混在していますよっていう展示とかもやっているんで。なので機会があったら見に来てください。

長年潜ってて、やっぱ海って最初も言いましたが、僕た

ち人間生活の受け皿になってくれているところって大きいなあって思ってる。僕らが捨てた空き缶、それをすごく長い年月をかけて、サンゴが包んでいつてくれている写真があるんですよ。まあ全てがすべてではないかもしれないけれど、もしかして地球ってこんな風に、僕たちがやってきたことを何も言わず優しく包みこんでくれたのかなとか思ってしまったたりしたんですよ。



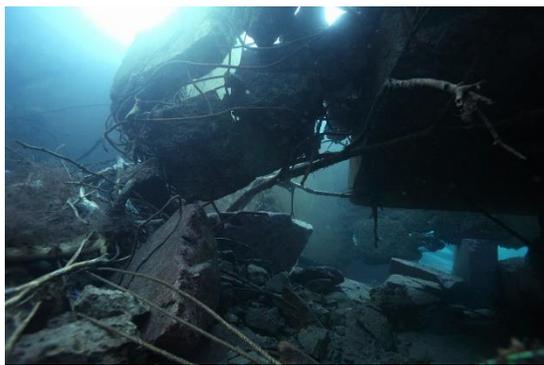
この一枚を見て。でも、なんかね、自然もめちゃくちゃ僕らに思っているより寛容かもしれないけれど、ね、きつと

もう、その寛容も限りがあったて、もうちょっとちゃんと人間したら？って問いかけてくる時もやってくるのかなあとか思いながら。はい、ごみ問題はずっとどうにかできればいいなあと思ったりもしています。でも正直言って海洋ごみとかめっちゃ目にしてるけれど、僕はどうすればいいのか正直言ってわかんないっていうか、あとパネルデスカッションでしよう。

震災の海に潜る

ちょっと今から気持ち変えますね。今回は、この講演会を宮城県でお世話になるということで、宮城県も東日本大震災で多大なる被害を受けた場所なので、ちょっとお話をさせていただきます。震災直後、ちょっと僕関わりがあったて、岩手県で潜ることが多かったんですけど、宮城県も出てきます。あと、今日次のパネルデイスカッションで重茂地区の

方がいらっしやっていますんですけれど、この黒い津波が来て、あの向こう側に半島っていうか島が見えるじゃないですか。あれの向こう側が重茂地区なんです。重茂地区は青い津波が来たと言われている場所なんですけれど、黒い津波が来た場所と、青い津波が来た場所、その二つでこの十二年間潜り続けているのかな。



震災直後は、ニュースでみんなが見る破壊された地上の景色と同じように、海中にも破壊された景色が広がっていました。そんな中、僕震災から

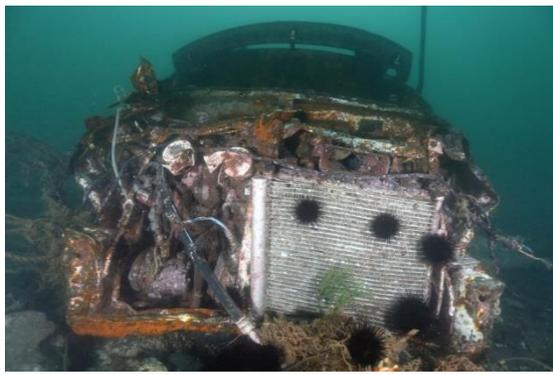
三週間後に潜ったんですよ。なんで潜ったかっていうと、ほんとバカなこと言いますが生き物が心配だったんですよ。人間生活はもちろん心配なのはそれはそうなんですけれど、僕、三十年も、その時は二十一年か、二十年も魚の姿を見て、魚と一緒に生活してきた人間だったの、うわあ、震災直後の海ってちゃんと生き物たちって生き延びているのかないってことをすごくバカみたいな心配してしまっで、で行ったのかな。そんな時に、皆さんの小指の爪ほどのダンゴウオっていう生き物がいる



んですけれど、このダンゴウオに出会ったんですよ。僕は震災の潜る意味っていうのをこの小っちゃな生き物から教えてもらったんです。震災を経験した海で、新しく生まれてくる命を撮影出来たら、微

力ながらも水中写真家何かできるんじゃないかな、という気持ちで撮影に挑んだら、また全然違う命のストーリーがあつて。まあ参りましたね、正直言つて。でも、なんか言えるのは、意外と海の中ってほんと命に溢れているんですよ。それはみなさんの地元の海もそうだし、この宮城県も岩手県の海もそうなんですけれど、すごく潜つて感じるの、割とこういうんな命が溢れているから、命の誕生であつたりだとか、もしくは食う食われるとか、割とそういうリアルな世界を海中では見かけることが多い、なんかこう生き物の写真を撮っているんだけど、やっぱ、結果命を撮影しているんだな、海の命を撮影しているんだな

てとこに行き着くなあとか思いなながら。特にその震災を経験した海を撮影させてもらつてから、水中写真家として社会と繋がりがやらつてこれたかなあみたいなきもちもしたかな。



これは何かつていうと、これも岩手県で僕がずっと定期的に潜っている場所なんですけど、この沖合三十mぐらいの水深十mぐらいの浅瀬に、車があるんですよ。ずっと車が沈んでいて、僕それを定期的に写真を撮っているのを見てみてください。出会ったころはこんな感じでわりと形

があつたのかな。春になるとアオサとかがわあつと繁茂してて、ちょっと言い方悪いですけど、自然がデコレーションしてくれている感じで。この車では誰も亡くなっていないですからね、つてことを先にお伝えして、ちよつぱりかわいいなあとか思いながら撮影したのかな。



二〇一四年にまた潜ったんですね、震災から三年後か。最初に言っておきますね。これは水深五mぐらいで、めちゃくちゃ浅いんですよ。冬と違ってめちゃくちゃ荒れるんですよ。浅瀬だからこんな

感じになると思うんですけど、想像より早くこの車は朽ちていってましたね。屋根とかぶつ飛んで、オープンカーやつて思いながら。すみません(笑)で、二〇一七年十二月。もう横から見たら全然いろんなものが無くなって、これで震災から六年目か。わあ、なんかこんなの百年経ったら全部なくなってしまうなとか思つたけれど、実はこの周り



にタイヤとかがいっぱい落ちてたんですが、タイヤとかは全然姿を変えず、ドーンと存在感を持ったまま鎮座してましたけどね。二〇二三年九月、

今月だ。僕、二週間前に行つたんですよ。もうそんな時も全然ほほほ感じは変わらないうちにこの車はあつたかな。ちよつとずつと僕が見続けているのを見てもらつたんですけれど、この他に扇風機とかガードレールとか、色々この近くに落ちてるんですけれど、僕は毎年その子たちに会いに行つてるので、僕にとってはちよつとした思い出の品々かな。それを持つていた人とは違う意味で。

三陸の海の美しさ

僕です、震災から二年後に、新潮社から「ダンゴウオ」っていう写真集を出したんですよ。これは絶版になってしまったんですけれど。そのあとに、この「ダンゴウオ」っていう震災をまとめた写真集を見たフレールベル館っていうアパンマンで有名な出版社の人が、子ども用に作りたいって言うので、それで子供

用に作ったのが「ダンゴウオの海」っていう本です。僕ね、あの頃はすごく夢中で、震災が起きて傷ついた海、その傷ついた海で生きる生き物、新しく生まれてくる命を撮りたい！と思ってまとめたのがこの二冊なんです。でもやっぱり印象としては、三陸の海、震災があった、傷ついています、っていうやっぱり印象の写真になってくるんですよ。新しい命っていうテーマはしっかりあるんですけど。これ出したのが震災から二年後、四年後だったんですけど、震災から十年目を迎えるくらいに近づくにつれて、僕の中で違う感情がどんどん芽生えてきたんですよ。いやいや、だって、その三陸の海ってずっと十年間潜り続けてわかったことって、震災で傷ついた側面だけではなくって、実は三陸の海って僕たちが想像するよりも美しい面があるんだよなって気づいたんですよ。で、僕の目標としては、あれは二〇一一年じゃないですか、

二〇二一年、今から二年前に、じゃ、俺は絶対に本を出そうと思ったんですよ。それはどんな本かと言ったら、三陸の海はこんなに美しいんだぞ、震災を経験した海の本当の姿はこんななんだぞっていう写真集を作ろうと目指していたんですけど、なかなか写真集を出すのってすごく難しく、そこには結果到達できなかったんです。仙台のミヤギテレビさんからお声をかけていただいたいて、鍵井さん、震災十年目の時にうみの杜水族館で写真展してくれませんかっていうお話をいただいたんですよ。まあ僕の中では、これや！って思ったんですよ。本は作れなかったけれど、三陸の海が美しいってことを発表できるタイミングはここだ！と思って。

これは宮城県の女川で撮影した一枚なんです（写真下）。見ていただいたらわかりますように、これはほやですよ。ほやの周りを見ていただいたらわかるように、すごく美しい海綿が海底を彩っているんです。例えば僕、沖縄だったりだとか、外国で言うところのモルディブとかインドネシアとか、ニューカレドニアとかすごくいろんな海に行くんですけど、こんな色彩を宿した海はないんですよ。なんか、本当にすごいなあと思って。



今俺が宮城県にいてるから、宮城県の海に対していいこと言ってるやろうとかそういう気持ちはなくて、僕、本当に世界中の海を知ってきて、そこでそれを知っている僕が目が見た景色がこれで、それが本当に美しく、うみの杜水族館でやった時に、地元の方とお話する機会をたくさんいただけたんですけど、いやいやいや、ほんま宮城の海めっちゃくちゃええで、自分らの海、自慢やで、こんな景色あること知ったほうがええでっていうことを一心にお伝えしてたのかな。すごい絵画のような美しい海底景色、ま、もうちょっと言うと、僕が写真上手なんですけどね（笑）。すみません、ま、そこもほんとなんですけどね（笑）。



族館でやった時に、地元の方とお話する機会をたくさんいただけたんですけど、いやいやいや、ほんま宮城の海めっちゃくちゃええで、自分らの海、自慢やで、こんな景色あること知ったほうがええでっていうことを一心にお伝えしてたのかな。すごい絵画のような美しい海底景色、ま、もうちょっと言うと、僕が写真上手なんですけどね（笑）。すみません、ま、そこもほんとなんですけどね（笑）。それがめっちゃくちゃ嬉しかったんですよ。僕、樋口監督に対して、単純に言って百枚近い写真を毎回送るんですよ。今回の表紙はこんなふうにすかかって送ったら、樋口監督が一発で、今回これですよ。これをを選んでくれたんですよ。すごく嬉しかったですよ。ものをつくる人間の感性がちよっとだけ共鳴した感じがあって、すごく嬉しかったですね。

はい、これもなんてことない女川でポートダイビングを

して、ボートダイビングでポ
チャンと入って、水深十五m、
十二、三mぐらいなのかな、
降りて行った所の景色なんで
すけど、めちゃくちゃカラフ
ルでしょ？本当に本当に美し
いんですよ。あのほやの上を
覗くと、毎回ではないですが、
震災直後に出会った僕にとっ
ては思い出深いダンゴウオっ
ていうお魚なんですけど。ち
よっとこのダンゴウオ憎たら
しいんですけどね。ダンゴウ
オがこつちを覗いていたり、



北の方のサンゴ、この黄色い
お花見たいなサンゴの周りに
カラフルなウミウシですね。

こういうのがいたり、これギ
ンポちゃんって言って、ここ
にめちゃくちゃ大きなとさか
を生やした、これもみなさん
の人差し指ぐらいの大きさの
生き物なんですけれど、こう
いう生き物が覗いていたり。
こんな生き物がちよっと冷た
い海底に入っていくと、カラ
フルな岩の間からこつち側
を見てくれたりしてて、ま、
それはまだ沖縄や伊豆半島と
か北海道ではない、魅力のあ
る海中世界が僕たちを迎え入
れてくれるかな。

これ、タコが何してるとこ
ろだと思えます？（写真下）
これ、めちゃくちゃ珍しいシ
ーンらしいです。タコって漏
斗みたいな口あるじゃないで
すか。そこからでてきたんで
すよ、この子らが。なんだと
思いますか？卵？せやねん、
この前も聞いたら卵言うてん。
卵違う。はい、うんこです、
うんこ。わかってたくせに、
みんな（笑）。どうみてもうん
こじゃないですか。みなさん、
今日は貴重な写真を見ていた

だくことができたと思えます。
タコのうんこちゃんでしたね。
そんなにえ？って思ってもら
えると思つてなかったから、
それ以上話広げられなくてす
みません（笑）。



これも女川ですね（写真下）。
キンコって言ってナマコなん
ですよ。ナマコが触手を開い
てプランクトンを食べている
んですけれど、その後ろっ側
に、ホタテやっつけたっけ、牡蠣
やっつけたっけ。ホタテ、ホタテ
棚か。があつて、なんかこう、
こんなね、正直言って、ナマ
コがわあつていてる気持ち悪
い海底ってあんまりないんで

すよ。こんな気持ち悪い海底
の先に、なんとなく人間生活
の品々があつて、これはこれ
でおもしろいなって思つて撮
影した一枚です。



震災後七年で
見えてきたもの

最後のほうに向かつていき
ます。この写真は岩手県の宮
古市で撮影して、それこそ重
茂ですね。重茂地区で撮影し
た一枚なんですけれど、震災
直後は本当に僕の目には震災
で沈んだ生活の品々しか目に
入ってなくて、いつも車と
かガードレールとかフライパ

ンとか、そういうのばかり見
つけて、そこに宿っている命
の撮影ばかりしてたんです
よね。七年ぐらいずっとそれ
やってたんですよ。ずっとそ
れやってたら、でも先ほども
言いましたが、目標は十年目
だったんですよ。十年は絶対
に震災の海に潜り続けよう、
そうしないと俺がやっている
意味がないと思つたから。で
もね、七年も時間をつかって
やってきて、海の中覗いたら
さ、車があつて、っていうの、
正直言って疲れてくるんです
よ。最初の震災から二年目と
か三年目ぐらいまでは来れば
来た分、海中にめちゃくちゃ
変化があつたんですよ。だか
ら撮影してもやりがいがあ
つたけれど、震災から七年ぐ
らい経つと、例えば三か月後
に来てそんな変化がもうな
いんですよ。ああ、また俺同
じもの撮影してるな、とかい
う気持ちになった時に、正直
言うと、なんか他に手はない
かな、俺このままやったら十
年もてへんなあつてときに見

つけた景色がこれやったんですよ。ちょっと車とか忘れて、普通のリーフ、岩撮ってみようとか思って、ストロボ当てたら、バってこれが出てきたんですよね。もうびっくりして僕、七年も通っていたのにこんな景色を知らなくて。で、なんとなくカメラを向けて撮ったその先に、他の海では見たことのない色彩が宿っていて、その時正直言ってこれだー！って思ったんですよね。



これがあつたら俺は十年間潜り続ける、十年を迎えることができるし、僕の活動を手伝ってくれて、何も文句も言わ

ず、震災の人工物ばかり写真を撮ることを許してくれた漁師さんとか、関係者の皆さんに、違った恩返しができるなあと思って。やっぱ、届けた景色はこういう景色だよなって思ってた。そう思えたとき一枚目の写真がこれだったんですよ。嬉しかったですね。バカだから七年かけてやっと見つけたんですけど。まあまあこういう写真集、『にほんの海』っていうのにまとめてあるので、良かったら見てください。

今を生きる

写真家として

最後の最後に五分間だけ、僕の活動の話をさせてください。今僕、撮影した魚のシールを作っているんですけど、僕、これまでに自分のいろいろな展示会とかデパートとか、老人ホームとか、いろんな壁にこのシールで水族館を作ってきたんですよ。先月かな、実はずっとずっとやりたかつ

たことなんですけれど、これは、横浜にある子どもホスピスっていう、すぐくずばって言っちゃうと、小児がんとかで命の先が見えている子どもたちとかをケア、その家族とかをケアしている施設なんですけれど、そこでこんな風にしてきたんですよ。この施設の方と話して、海に行こうって約束してる子どもたちがそうすることもできなくて、その日を迎えた、何を言っているかわかりづらいですね。なかなか海に行く機会のない子どもたちにも、少しでも海の世界を感じてもらえればいいなあと思って。特に僕、イラストではなくて、実際に僕が海の中で切り取ってきた写真を切り抜きにしてるので、割とリアルな感じで作れたりするんですよね。今回初めて透明なシールで作ったんですけれど、透明なシールで作ったらこんな感じで窓に貼って、それが透過すると白い壁とかにまた違う水族館が

できたりして、僕らが想像しているのはまた違った夢のある空間を作り出すことができ、これはこれで本当にすぐやるべき一步だったなっと思ってたんですよね。まあまあ、こんな職業してて、自分の写真で誰かが笑顔になってくれるって考えたなら、こんなに嬉しい仕事はないなとか思ってみたりして。海の中で写真撮るって、今を生きる写真家として、違う意味になりたいなと思ってこんな活動も始めた。最後になんでこれを見ていただいたかっていうならね、これはクラウドファンディングであったり、地元のリイオンズクラブさんとかの協力を得てやったりするんですけど、またこういう機会があつて、鍵井さん、なんかどうかで作ってよ、とかいうのがあつたら、言っていただけなら嬉しいかな。全てがすべて実現することは難しいかもしれませんが、そういう活動もやっていきたいかなと思っ

世界中で出会った、僕にとって大切な生き物との思い出をちょっと聞いていただいて、まあ海洋プラスチックに関しては、本にある知識というよりは、自分が見た景色をちょっと今の段階で皆さんにお伝えして、震災の海です、震災の海に関しては、本当に僕が言いたいのは、今回この会場が宮城であるっていうのはそうなんですけれど、実は三陸の海にはね、日本のどこにも負けないっていうか、比べることができない、皆さんにとつては宝物の海があるってことをお伝えしたかったのかな。はい、そんな感じで一時間半ほどお話をさせていただきました。ありがとうございました。



【活動報告】



重茂漁業協同組合
女性部部長 盛合敏子氏



(株) アーダ・ブレン
代表取締役 佐藤圭氏



生活協同組合あいコープみやぎ
理事 佐藤あきな氏



～天恵戒驕とは～

天の恵みに感謝し、

驕ることを戒め不慮に備えよ

天然資源は有限であり、これを無計画に乱獲せず、常に新たな資源を補いながら、自然と共存共栄を図るべしとの初代組長 西館善平氏の教えです。

『自然と共存・共栄』

この言葉の中には、森林や河川を守る自然保護活動に加え、合成洗剤追放運動と言った、環境に対する配慮も含まれております。

3.11、あの日
重茂を襲った大津波

平成23年3月11日午後3時20分
重茂(音部漁港)に押し寄せた大津波。



重茂地区に押し寄せた大津波の最長到達高さは、
姉吉の40.5mでした。



※これは、重茂と同時刻に、隣の宮古湾を襲った大津波の瞬間です。へドロで真っ黒な事から、被害に会われた方々は、窒息状態で亡くられました。

なぜ、
重茂の津波は青かったのか？

その理由とは…

昭和51年から始まった
合成洗剤追放運動！

今年で、47年目を迎えます。

あわび稚貝投入後 1時間経過後の状態



1時間経過後の状況

- ① 合成洗剤の水槽に入れた稚貝は、**2個体とも横転した状態から起き上がれず、既に死んでおりました。**
- ② 一方、わかしおっけんの水槽に入れた稚貝は、**2個体とも元気で、1年以上生き続けた後、天然漁場に放流されております。**

～おわりに～

天恵戒驕のもとにはじまった
合成洗剤追放運動。

それがもたらした「青い津波」は、
憎き大津波であると同時に、
私たちの誇りとなりました。

美しい自然を後世へと引き継いでいく
ため。そしてなにより、これからの未来を
生き抜くこともたちのために、今一度、
それぞれの生活を振り返ってみてはい
かががでしょうか。

報告会 ② (株)アード・ブレーン代表取締役 佐藤 圭氏

アード・ブレーンの取り組み

ミル挽き石鹼を活用した
石けん普及活動について



石けん普及活動

会社紹介	3
ミル挽き石鹼とは	4
企画の意図	5
ミル挽き石鹼の種類	6
PRのしかた	7
活動の結果	8
今後の展開	9



会社紹介

「艶のある肌は、幸せを引き寄せる」

弊社は、1986年創業の化粧品メーカーです。

皮膚の機能と構造、使い心地のよさを重視した処方開発を心掛け、香料や動物油、石油系界面活性剤、旧表示指定成分を使用せず、動物実験を一切行わない“オリジナリティあふれる製品”をお届けしております。



2023

アード・ブレーンの取り組み

3

ミル挽き石鹼とは

廃食用油を活用した粉状の石けん



ミル挽き石鹼を企画した意図

1. 廃棄される食用油を活用。
2. 福祉の仕事を増やし、一人でも多く活躍できる社会に。
3. 合成洗剤の使用を少しでも減らす、きっかけにする。

2023

アード・プレーンの取り組み

5

ミル挽き石鹼の種類

仕様	価格
500g	800円
250g	500円
8g	販促用
5kg	量り売り用



2023

アード・プレーンの取り組み

6

ミル挽き石鹼を活用したエコ活動

多くのエコやおしゃれイベントに出展

- ブルーオーシャンファンフェスKANSAI
- NEW ENERGY
- 辻堂ビーチクリーン
- ヨガイイベント
- Etc...



2023

アード・プレーンの取り組み

7

活動の結果

活動当初は順調に進展 → コロナ禍で全てストップ

- ネーミングと、デザインの効果か、若い世代に興味をもっていただいた。
- 企業のCSR向上など、ノベルティなどに採用。
- ドコモさんの企画「カボニユール」など、大手企業さんも興味をもってくださいましたが、コロナ禍で企画の中断を余儀なくされた。

2023

アード・プレーンの取り組み

8

石けん環境委員会活動報告

生活協同組合 あいコープみやぎ
石けん環境委員会担当理事
佐藤あきな

石けん環境委員会活動報告

- * 本日の報告内容
- ・マイクロプラスチック問題
- ・ゴミを減らす取り組み
- ・有害化学物質問題
- ・石けん利用を広める活動
- ・7月はシャボン玉月間
- ・せっけんアクション
- ・新PBリサイクル石けん工場見学

マイクロプラスチック問題



東京農工大学農学部環境資源科学科教授
高田秀重氏
学習会「化学物質による海の汚染」



大阪商業大学公共学部 准教授
特定非営利活動法人プロジェクト
傑津川代表理事 原田禎夫氏
オンライン学習会
「未来のために知っておきたい、
海とプラスチックのお話」

マイクロプラスチック問題



宮城県七ヶ浜町喜蒲田浜海岸や
宮城県仙台市荒浜浜沼海岸での
プラスチックごみ拾い

マイクロプラスチック問題



ハチマスポンジ作り



布たわし作り



マイクロプラスチック問題

- 卵のモウルドハック
- お料理キットの紙トレへの変更
- 食肉の包装プラスチック削減



石けん環境委員会ニュース

ゴミを減らす取り組み



生ごみ堆肥づくり
講師：仙台生ごみリサイクルセンターへのコンポストの設置



- 布おむつ講座
- 布ナフキン用無漂白ネル生地頒布
- 衣類や布製バックの玉ねぎ染め



有害化学物質問題



- NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 水野裕子氏
- オンライン学習会「香りの害について知っていますか？」



- NPO法人有害化学物質削減ネットワーク理事 堀田博氏
- 学習会「暮らしに潜む有害化学物質」



- NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 中下裕子氏
- オンライン学習会「有害化学物質のない未来へ〜環境安全基本法の制定を求めて〜」

石けん利用を広める活動



仙台市3R講師派遣事業
夏休み企画
「上靴を石けんで洗おう！」



地区委員会企画
「石けんおはなしカフェ」



石けん初心者むけ企画
「石けんモニター募集」

7月はシャボン玉月間



「7月はシャボン玉月間」
首長メッセージ行政依頼



配送トラックへの
車両マスク掲示



定例会で
車両マスク石けん洗濯

せっけんアクション



新PBリサイクル石けん工場見学



労働者保護のため撮影はできませんので、ご容赦ください。

新PB「めぐる石けんさいかち」
せっけん工房わ・は・わ見学

オープニング【仙台すずめ踊り】

この踊りは、毎年5月の青葉まつりでコンテストも開かれ仙台市民に愛される踊りです。慶長八年（1603年）、仙台城移徒式（新築移転の儀式）の後の宴席で、泉州・堺（現在の大阪府堺市）出身の石工（いしく、石垣づくりの職人）さんが、藩祖伊達政宗公の御前で即興で披露した踊りが始まりと言われています。踊る姿が餌をついばむ雀に似ており、伊達家の家紋も「竹に雀」であることから「すずめ踊り」と呼ばれました。

今回、あいコープみやぎの生産者・メーカーで作る共生会の細谷滋紀会長（七郷クロバーズファーム）よりご紹介いただき、「沖野すずめ隊」の頭^{かしら}である山口裕子^{やまぐちひろこ}さんに踊りのご指導を賜りました。あいコープの理事、あいコープの生産者・メーカーで作る共生会、せっけん環境委員、子ども達、あいコープのキャラクターパスちゃんによるすずめ踊りをご披露しました。

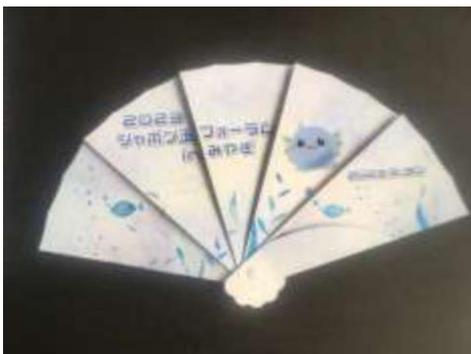


「沖野すずめ隊」の頭^{かしら}である
山口裕子^{やまぐちひろこ}さん



元気よく踊る理事と子ども達

お土産（扇子）



お土産『めぐる石けん さいかち サンプル品』

生活協同組合あいコープの前身である仙台共同購入会は、石けんを入口に環境問題に取り組むお母さんたちが立ち上げました。石けんは、使う人にも優しく、水も環境も汚しません。人と環境のことを考えるあいコープでは、合成洗剤ではなく、石けんの利用を推進してきました。あいコープで取り扱う石けんの一つ「リサイクル石けんさいかち」。社会福祉法人みんなの輪（※）（以下、みんなの輪）が、使用済みの食用油を使用して作る「リサイクル」の粉せっけん。「食器汚れや台所周りの油汚れがきれいにとれる」と、多くの組合員に愛用された商品でしたが、今年の3月、製造施設の都合により販売が休止となってしまいました。それでも「石けん運動の柱となるさいかちを再開してほしい」という組合員の声にこたえ、組合員から募ったカンパ金とジョイケア基金により、新たな施設の建設が実現。今年の8月から製造を再開することができました。生活の中で出た不要なものを資源に代え、使った後の水ではできる限り環境を汚さないように自然へ返す。このリサイクルと水の循環、それぞれの輪がいつまでも続くように、との思いを込め、食品以外では初めてとなるあいシテル商品「めぐる石けんさいかち」として生まれ変わりました。今回のお土産はサンプル品になりますが、みなさんも是非使ってみてください。

2023年9月4日 【別冊まんま通信】 お届け期間：9月25日-9月29日 ・掲載商品の原材料一覧はこちらをご覧ください。 <https://www.mamma.coop/genzairyo/>

あいシテルとしてさいかちがリニューアル!
わ・は・わ味明の新工場からお届けします!

新 **000545** **めぐる石けん さいかち**
1kg **228円(税込251円)**

あいのある暮らしに

さいかち 再登場!

新 **000625** **めぐる石けん さいかち(ボトルタイプ)**
300g **240円(税込264円)**

**キッチンにびったり
使い勝手の良いキャップ付**

キャップをあげればささっと使える。お掃除はもちろん、台所に常備しておけば、食器洗いにも重宝する便利なボトルタイプ。

生活協同組合あいコープの前身である仙台共同購入会は、石けんを入口に環境問題に取り組むお母さんたちが立ち上げました。石けんは、使う人にも優しく、水も環境も汚しません。人と環境のことを考えるあいコープでは、合成洗剤ではなく、石けんの利用を推進してきました。あいコープで取り扱う石けんの一つ「リサイクル石けんさいかち」。社会福祉法人みんなの輪（※）（以下、みんなの輪）が、使用済みの食用油を使用して作る「リサイクル」の粉せっけん。「食器汚れや台所周りの油汚れがきれいにとれる」と、多くの組合員に愛用された商品でしたが、今年の3月、製造施設の都合により販売が休止となってしまいました。それでも「石けん運動の柱となるさいかちを再開してほしい」という組合員の声にこたえ、組合員から募ったカンパ金とジョイケア基金により、新たな施設の建設が実現。今年の8月から製造を再開することができました。生活の中で出た不要なものを資源に代え、使った後の水ではできる限り環境を汚さないように自然へ返す。このリサイクルと水の循環、それぞれの輪がいつまでも続くように、との思いを込め、食品以外では初めてとなるあいシテル商品「めぐる石けんさいかち」として生まれ変わりました。

■参加者からの感想

初めて参加しました。水中写真家の鍵井さんの写真はとても美しく、実感のこもったお話しでした。全国の生協でそれぞれに石けん活動に取り組んでおられることがわかり、自分たちに何ができるか考えるきっかけになりそうです。

鍵井氏をはじめ三陸の海を守りたいという気持ちに感銘を受けました。台所から社会を変えるせっけん運動を静岡でも広めます。

私は初めてシャボン玉フォーラムに参加したが、参加者の皆さんとお話しできて、本当に楽しかったです。初めてお会いする方も、初めて会った気がしないくらい、石けんの話で盛り上がりました。参加してよかった！

多くの方、企業が石けん推進活動に本気で取り組んでいらっしゃることを知りとても勇気づけられました。今日知った活動を発信していくこと、自分たちの土地（愛知）でもできることを1つずつやっていこうと思いました。鍵井さんのお写真で普段は見られない海の中をのぞかせて頂き、とても有難かったです。また石けんを切り口に様々な問題を知り動くきっかけになっていくんだということを改めて感じました。

すずめ踊りが素晴らしかったです。お子さん方も可愛らしく上手で、パスちゃん、スタッフの皆さんがいきいきされているのが伝わってきました！鍵井さん、重茂の盛合さんのお話も印象的でしたし、海水の高温化、汚染水の放出についても地元の受け止め方を聞かせてもらい、もっともっと話が聞きたいと思いました。高橋さんの発信も素晴らしかったです。せっけんを間口に社会運動という言葉は本当に同感です。放出反対についてはいつまでも連帯します。可愛いだんごうおのうちわや、パンフレットの内容もよく、シャボン玉フォーラムは初めて参加しましたが、他団体せっけん運動も参考になりました。

あいコープみやきの理事長であり、せっけん運動ネットワーク代表幹事である高橋さんの熱い思い、また実行委員長を務められた原子さんのせっけんへの思いが伝わりました。講師の鍵井さんのホンワカした語り口で、お話しにすっかり引き込まれ、色々な色や光で溢れるこの豊かな海を守りたいと真剣に思いました。



わたしの せっけんアクション

あいコープみやぎでは、少しでも、自分や家族のため、環境のために石けんの良さを伝えるための「せっけんアクション」を起こしました。

ひとつひとつは小さくても、組合員みんなの力が合わされば大きな力になるはずです！！

今まで使っていた合成洗剤を一切やめて、粉石鹼オンリーにしました。

子どもが家庭科の授業で自分の靴下を洗濯することになりました。家で石けんを使っていることから、担任の先生に、子ども自ら「僕は合成洗剤で洗いたくありません！」と話したところ、学校で石けんを準備してくれて、クラスみんな石けんで洗濯をすることができました。

子どもが生まれるまでは香りの強い柔軟剤や抗菌作用の強い洗剤を好んで使っていました。長年謎の咳に苦しみ、季節の変わり目のアレルギーだと思っていた。しかし、一度せき込むと止まらず、のどから血が出るのでは？命に関わる病気なのでは？と思うほど。病院では咳喘息と言われ、吸引器や薬も効果なく、加湿器をつければ悪化するばかり。そんな時、咳と洗剤の関係の記事を目にし、子どもが生まれたことで、全て（柔軟剤はやめ）シャンプー、リンス、洗剤、ボディソープは無添加の赤ちゃん石けんに変更。それからです。ピタッと咳が止まったのは。大変驚いたと共に、原因はこれだったのか！と

その後はあいコープさんと出会い、食器洗剤やハンドソープも無添加せっけんに！！これほどまでに健康を脅かすものだったとは。便利と引き換えに恐ろしい時代になったと改めて実感しました。香害も含め、この石けんの良さ、安全性を広めていきたいですね。

子どもが学校から持ち帰ってくる給食着の柔軟剤の香りがキツくて、子どもも頭痛。私も洗濯が苦痛。。

そこで、学校に相談したところ、自分用の新しい給食着を準備してくれた。また、学校便りで、給食着の洗濯時に香りの強い洗剤を使用しないでと全体にアナウンスしてくれた。困っている人がいることを少しでも知ってもらうことができた。

子どもがアトピーで、学校の手洗い場に石けんを置いてもらうよう要望し、1ヶ所だけ石けんを置いてもらっていました。他の保護者からも要望があったとのことで、購入のタイミングで、学校全ての手洗い場に石けんのハンドソープを置いてもらうことができました。

少し前から、台所では液体の石けんを使用しています。あいあいあい4月号（あいコープみやぎ機関紙）の石けん運動そもそもばなしという特集記事で、元あいコープみやぎ理事長の吉武洋子さんの連載の中の「被害者にも加害者にもならない、農薬が駄目なら同様な成分を持つ合成洗剤も駄目、こんな簡単なことが何故通用しないのか、本当に不思議です。」この文章を読んで、ハッ！と気づかされました。本当におっしゃる通りだと。深く深く反省しました。それからは、お風呂では石けんを使い、衣類の洗剤、シャンプー、リンス、ハンドソープ。。。と順次切り替えている最中です。行動に移し、実践していきます。職場もまずはできるところから変えていこうと思っています。それにしても組合員の石けん利用率が20%以下（2012年時点で）とは、とても残念に思いました。考えさせられました。

キッチンの食器洗い洗剤をやめて石けんにしました。最初は使いづらいかないと思いましたが、意外と大丈夫でした。石けんを使うのは肉の油汚れがひどい時のみで、それ以外は石けんを使わずにスポンジで皿をこすって洗っています。石けんに変えてから手荒れも改善しました。

長男が生まれた時は、赤ちゃん用の食器洗剤と洗濯洗剤を買って、大人の物と分けて使っていましたが、石鹸生活を始めてから産まれた次男の時には、赤ちゃん用の洗剤を買う必要もなくなり、みんな一緒に洗えています！

分ける手間もなくなり、コストもかからないし、人にも環境にも優しくて石鹸生活サイコーです！

食器洗いのお手伝いをしたいと子供に言われた時に、泡が残っていたらと思うと心配で任せられなかったのですが、今は石鹸だったら多少残ってても大丈夫か！と子供にもたくさんお手伝いしてもらっています。

仙台市のママから給食着の柔軟剤の香りの件で相談された。仙台の市議会女性議員にお願いしました。

荒井の小学生がいるママから、学校で「香害」のチラシが配布され、はじめて香害を知ったと聞きました。町の交流館に石けんのハンドソープ。香害を伝え続けてよかったです。

職場で洗濯に使っていた合成洗剤をセスキ炭酸ソーダと酸素系漂白剤に変えました。おかげでタオルや雑巾がふわふわになり、吸水性もアップしました。それまで、セスキを使ったことの無いスタッフにも好評です。洗濯機の内側も特にクリーニングしていませんが、以前よりピカピカになっています。

手洗い用としては、客用トイレに備え付けているディスペンサーの中のハンドソープ（合成）を液体石けんに詰め替え、スタッフ用には固形石けんに変えました。

原因不明で手が荒れて強いステロイドを処方されて塗っていましたが、それでも改善されず、お風呂用洗剤を純石鹸へ変えたところ、みるみる荒れてた手がツルツルに戻りました。それからは家中の洗剤は石けんです！

もともと夫が柔軟剤の香りが苦手とうこともあり、洗濯洗剤は無香料のものを使用していたのですが、昨第一子してなる娘が産まれた際に、洗剤にさらにこだわり、無添加のものを使用するようになりました。

香りだけでなく、肌に良いもの（害のないもの）を選ぶようになりました。

元職場の先輩に、あいコープの洗剤やボディソープがおすすめと紹介されたのもきっかけです。

食器洗いの洗剤を石けん（みずばしょう、さいかち）に変えました！

職場の流しで自分たちのコップ等を洗うのですが、皆手荒れがひどいというので、石けん洗剤に変えてみました。かゆくなることが少なくなったと好評です。我が家では、風呂場のボディソープやシャンプーも石けんのメーカーの物を使っています。子どもたちもそれに慣れて他の洗剤のにおいに敏感になっています。環境に優しいものをこれからも使っていきたいと思っています。

せっけんをここまで推奨する良さがあからず、合成洗剤の何がどう環境に影響を与えるのかも知らず、良かれと思う洗剤を使用してきました。

が、初めて知りたい気持ちになり、せっけんシャンプーとボディソープを手にししました。

茶碗洗い時に、指の関節が痛くなる(けいれんのようにつっぱる)ことが 冬に多くあり、経皮毒もあるかもしれないと、市販の液体合成洗剤から台所用石けんに変えたところ、気にならない位回数が減りました!

それからは洗濯洗剤も石けんに変えて使っています☆ 環境に優しい物は人にも優しいんですね☆

3人の小学生の孫のおばあちゃんです。

コロナ対策の消毒液で、小さな孫たちの手がアカ切れだらけ。。。我が家では、「さいかち」を熱湯で溶かしホイッパーで泡立てて使っています。

たまに洗い物を手伝ってくれるのですが、「きれいに洗えて、手にやさしいせっけん、とても良いね」と言ってくれます。

ハンドソープももちろんせっけんに変えました。

せっけんはみがき、、子どもたちへ送っています。洗剤やシャンプーは次々と好みを受け入れ諦めてきましたが、せめて口に入れるものはつかってもらっています。

何度かトライしては挫折を繰り返し、食器用洗剤だけどうしても石けんにできずにいましたが、一念発起してまたトライしました。今回は油のついた皿は洗う前にいらぬ布で拭くことを徹底して今までの中で最長記録を更新中です。そろそろ、もう合成洗剤には戻らないだろうという自信も出てきました。

すてきなシャンプーが市場に迷うほどたくさん種類が出回っています。みんなが芸能人のようなサラサラヘアになると思うような、TVのCM。しかし、66歳の私が長い間いろいろ試してたどり着いたのがこれ。。。「Pax Olie Hair Soap」石けん由来のシャンプーなのにきしまない。香りもやさしくて何より「太平洋を汚してしまう後ろめたさ」から幾分解放される安心感。少し高価だけど、ずっと使い続けたい!

食器洗いの「水ばしょう」のお試し企画に参加してから、「水ばしょう」を使っています。

また、洗濯用洗剤も石けんに替えました。カタログに載っているものを色々試しています。洗い上がりの香りが人工的なものではないのが気持ち良くごわごわするのが心配でしたが、大丈夫でした。竹から作ったものも試しています。洗い上がりがサッパリします。

在宅介護をしています。

先日、看護師さんが泡石けんでなくても固形の石けんを並べておくと、用途に応じて使用出来るのでおすすめですよと言ってくれたので、置くことにしました。

もう10年以上石けんしか使っていません。食器洗い、歯みがき、風呂掃除、洗濯。。。すべて石けんです。洗濯は白いスジが残ったり、男子の匂いが心配だったり「もうやめようかな」と思ったこともありましたが、石けん：酸素系漂和剤：重曹=1：1：3 プラスクエン酸で落ち着き、全く問題ありません。3分間、お湯で攪拌してから洗濯し始まるのも全く苦痛ではありません。

ここ6年以上「みずばしょう」を使っています。よく泡立てて使用すると見事な泡になり楽しみながら洗濯機に投入しています。白いものはさらに白く、逆に水色系列だと薄くなりますが、その際は液体せっけんを使用しています。柔軟剤を入れる必要もなく、コストもその分かからず、ずっと止められません。香りもきつくないので気に入っております。

前に石けんシャンプーとリンス買ったが市販品に慣れてしまってダメでした。でもまた、思い切ってシャンプーとリンスの小さいので試してみました。大丈夫でした。これからも少しずつ石けん増やしていきたいと思います。

子どもの施設用務員をしています。今から6年前に仕事を始めたころ、雑巾やバケツなど、ろくになく、石けんなどとんでもない。洗濯用石けん否！洗剤しかなくて、しばらく自宅から持っていったりしていました、ある時副主任に聞いてみたら、今まで用務員が何を使っていたかなど、全く知らないとのこと。そこで、「固形石けん（主成分石けん）なるものを知っているでしょうか？それをお願いします」と既に半年以上たっていました。世の中、こんな貧しい知識しか持たない人であふれています。固形の石けんは扱いにくい、汚れが落ちないを思っている人々が多いです。

お皿洗いを石けんにして5年以上経ちます。お風呂場でも石けんしか置いていません。白髪が減っている気がします。一度も染めていません。

環境と身体のことを考えて、台所、洗面所、ふろ場、洗濯と全て石けんに変更しました。詰め替え用のボトルなど無駄なものが減りすっきりしました。また、猫を飼っているので余計な香料の心配もなくなり快適です。

2年前から少しずつ始めて、今では台所、洗面所、ふろ場、我が家では全て石けんのお世話になっています。おかげで余計なおいのストレスもなくなり、とても快適な生活になりました。

新型コロナが流行ったころ、職場（学校）の除菌に石けん洗剤を取り入れました。子供の大人も安心して掃除ができました。

職場の石けんをすべて「しゃぼん玉石けん」に変更しました。肌の弱い方やアトピーの人にも大好評。水生生物にも悪影響がなく、本物のSDGSです！

保育士です。園で使用していたハンドソープは合成洗剤。職員会議で石けんに変えてほしいと提案し、新年度から購入し、全クラスで使い始めました。園の洗濯物と厨房で使う合成洗剤は残念ながら変えられていません。指導要領が高いハードルです。

洗濯機を新しくしたら、石けんかすが気になるように。どんなに洗濯前に溶かしても洗いあがりの特に黒っぽい服が気になります。でも、石けん委員の方の仕上げにクエン酸を使えば大丈夫を信じて洗濯機にクエン酸（粉）小さじ1をセット。本当にかすがなくなり、その上仕上がりがソフトに。家族に好評です。（一度はやめようと思った石けん利用でしたが）

合成洗剤ではなく、使い続けられる「石けん」と思い、みずばしょうと出会いました。30年以上の年月になり、今では我が家の洗濯にはなくてはならないパートナーです。

以前から家の中全て石けんを使っていますが、今一つ洗濯石けん（液体）かすが黒い衣類についてくるのが、いつも気になっています。いつも手洗いで洗い直しです。

約20年前に購入したみずばしょう粉石けん。使用時に粉を吸い込みそうになる、洗濯でとけにくく、洗濯槽のカビの原因になっていたと思われるなどの理由から、転勤族なのにずーっと持っていました。（800g程）

この度、思い切ってみずばしょうを空のペットボトルに入れてぬるま湯を入れてドロドロにして台所の洗い物に使ってみました。今までの台所では液体の台所用石けんを使っていたのですが、適当に作ったドロドロ石けんでも十分に洗い物ができています。やった！これでやっと頭の片隅にずーっと引っかかっていた粉石けんから解放されそうです。（洗濯ではパックスの洗濯石けんドラム用を使用しています。）

身体→顔→髪と、少しずつ石けんに移行してきました。なぜか選択は石けんを使っていませんでしたが、すっかり石けんに移行できました。

今までは糸くずフィルターがぬめりがありましたが、石けんにしてからほかにもぬめりがなく、糸くずだけぽいっととれるようになりました。いいことだらけで、なぜ今まで使わなかったのか自分でも謎です。

あいコープを始めて3年ほど経ちまして、カタログに入ってくる石けん生活に関するプリントや、食育コンダクターの講座を受講する中で、環境や人体への影響について学びました。また、友人が化学物質過敏症ということもあり、自分でも手荒れや湿疹など、気になる点があったので、石けん生活へシフトすることにしました。全てを一度に変えることは難しかったので、少しずつ挑戦しています。

今は、体を洗うのも、シャンプーも石けんにしました。最近洗濯洗剤を石けん洗剤（液体）に変えて、生活に定着しました！次は、食器洗い用洗剤を石けんに変えたいと思っています。

洗顔、体を洗うための洗剤は全て石けんです。合成洗剤の香りがとても苦手です。食器洗い用にも石けんを主成分とした液体洗剤を使っています。

親友達と皆で一斉に始めた、脱・合成洗剤。きっかけは、親友達に贈った手作り石けんです。仲間同士の会話で「どこかの誰かが何とかしてくれよう。そう思っている人がいる内は、環境汚染がなくならない。自分に何が出来るだろう？小さなことでもよい、皆が個人レベルで実行すれば必ず改善に向かう。」この結論に達して、私も含む5家族で使う洗剤類を石けんに切り替えました。もう8年です。（私自身は20年以上前に脱・合成洗剤）

母があいコープ組合員で、子どもの頃から無添加石けんで育ちました。

無添加石けんは余計な成分が入っていないので洗い上がりがヌルヌルせず、キュッとなるのでサッパリと洗った感じがしますし、とても心地よく洗えるので昔から大好きでした！

今では私も家族を持ち、あいコープ組合員です。

子どもも夫も無添加石けんで全身洗っています。

ママ友に「肌キレイだね。何使ってる？」と良く聞かれますが、聞かれる度に無添加石けんを勧め、広めています！！

実家の洗濯洗剤（液体アタック）を石けんタイプに変更しました。

ほぼ強制する形になってしまいましたが、1-2ヶ月もちそうな量を購入し、実家にストックしてきました。

実家滞在時の私のアレルギー反応が軽くなることを期待しています。

合成洗剤を使って手湿疹になり、それ以来家中の洗剤はすべてせっけんをつけています。

お祭りで子どもたちが石鹸作りをし、頂きました。その石鹸をどのように使おうか迷い、なかなか使えていませんでしたが、先日キッチンに石鹸置きを買い、布巾を洗う際使う事にしました。只今実行中です。

元々体は石けんで洗う派の夫と結婚したことでいつしか私も同じく。そして、今回、この「あたしのせっけんアクション」を拝見し、キッチン、衣類の洗濯と意識的に石けんに切り替えてみえています。

匂いが独特でちょっと、、、という気もしますが、洗浄力も高く環境にやさしいならこれからも石けん様(笑)に頼ってみようかな、と思っています！

シャボン玉せっけんの「洗濯槽クリーナー」は汚れがきれいに落ちるので愛用しています。塩素系のきつい匂いもなく、安心して使えます。

子どもの話で恐縮ですが、大学で家政を学ぶ子がいます。洗濯実習の際、「うちは兄弟が化学物質過敏症なのでせっけんを使用したい。」と思いついて申し出たところOKをもらったそうです。学部性格上、実習で常に石けんを使うわけにはいきません。でも、子どもがこの発言をしたことで、同じクラスの学生さんたちは「化学物質過敏症」という病気がある事、「健康には石けんの方が影響が少ないこと」を知ったと思います。若い方が石けんに興味を示す一助になればうれしいです。

今は、体を洗うのも、シャンプーも石けんにしました。最近洗濯洗剤を石けん洗剤（液体）に変えて、生活に定着しました！次は、食器洗い用洗剤を石けんに変えたいと思っています。

お風呂、キッチン、洗面所に3か所、固形石けんを置いています。マスクを手洗いで洗う時やメイク用スポンジを洗う時、下着類を洗う時に使用しています。

我が家ではハンドソープ、ボディソープは石けんのものを使用しています。他のものはさっぱりしないし、何といても香りがきついです。実家（両家）にも、石けんのハンドソープとボディソープを置いています。この良さを知ってもらえたようで、今も継続中（笑）！

給食着は持ち帰る度つらい。。。自分用にしてもらいたい、、、学校に相談してみる、いいですね。石けんの良さを伝えていきます。

台所、手洗い、体洗い、顔、シャンプーを石けんに変えました。しゅっちゅう泡で出る洗剤を買っていたのがなくなりました。洗濯とそうじがあと一歩です。

孫が誕生した友人、知人に液体せっけんのボトル（安心生活）をプレゼントしています。「赤ちゃんが泊まりに来た時に肌着やタオル、シーツも安心して洗えるよ」と伝えるとみんな喜んでくれます。（石けんの良さを書いたかわいいうりフレットがあったらいっしょにあたせるのですが。。。）

甘夏や八朔のネットを使用。これに固形石けんを入れて浴室にぶら下げています。石けんが小さくなくても新しいものを足すだけでいつの間にかくっついて一つになります。無駄な溶けもなく、石けん入れの手入れも必要なく楽です。

また、10年以上も前のことですが、けがで入院したことがあります。入浴許可が出た日のことでした。待ちに待った入浴で、髪も洗い、すっきりした気分病室に戻りました。ざんばら髪でちょうどお化け屋敷のお化けのようだったと思います。タオルで髪を拭いていたら同室の方が「シャンプーなにかっているの？見せてもらってもいい？」など口々に言って、私のところに集まり、シャンプーを手に取り熱心に見るのです。ついには、メーカー名や名称をメモ。

同室の方は石けんシャンプーがあることを知らなかったようでした。それで、石けんシャンプーと合成シャンプーの違いを簡単に説明し、昔は入手が大変だったけれど、今はスーパーでも買えるようになって手軽に入手できることなども伝えました。

30年以上石けん生活ですが、入院中に石けん普及に一役買うなって思ってもみなかったことでした。

小さなことなのですが…。合成洗剤と柔軟剤が好きな旦那に、石けんを使いたいと話しました。最初は嫌そうでしたが、今では石けん素材の物を購入してくれます。

洗濯洗剤をあいコープの粉石けんに変えました。

アカツキローブをたまたま見つけて使ってみました。とてもよく汚れが取れて、また注文しようと思っておりましたが見つからずにいます。粉石けんのにおいや外国の固形石けんはコーティングのところまで取れてきてしまってなかなか使いきれずにいます。

ボディソープ、シャンプー、クレンジング洗顔、台所用洗剤までまかなえる液体ソープを使っています。食器洗い時の手荒れが全くありません。

洗濯を液体石鹼にしてみました。洗面所では帰宅後自動で出てくるハンドソープは手放せないため、せっけんも置いて選んで使用できるようにしています。

あいコープに入ってこの一年で自宅で使っている石鹼を見直し、石鹼のハンドソープに変え、柔軟剤を使わなくしてみたところ、アトピー気味だった子供のお肌が良くなりました。

自宅で洗濯石けんを使っていたら、孫のためか義実家でも使い始めてくれました。

体や環境のことを考えて、手洗いを石けんにしました！その後、体を洗うのも石けん、子どもたちは頭も石けんで洗っています！快適です！

しおさい地区の勉強会でウエスの便利さと予洗いの前の予ふきが大切なことを知りました。それにより、石けんを使う量も大幅に削減。娘と旦那の着古したシャツを切りながら、海の生き物を守ろうね、ということ話をしたり、旦那とは水筒を持って、ペットボトル飲料を買うのを控えようという話をしたりするようになりました。

母があいコープ組合員で、子どもの頃から無添加石けんで育ちました。

無添加石けんは余計な成分が入っていないので洗い上がりはヌルヌルせず、キュッとなるのでサッパリと洗った感じがしますし、とても心地よく洗えるので昔から大好きでした！

今では私も家族を持ち、あいコープ組合員です。

子どもも夫も無添加石けんで全身洗っています。

ママ友に「肌キレイだね。何使ってる？」と良く聞かれますが、聞かれる度に無添加石けんを勧め、広めています！！

実家の洗濯洗剤（液体アタック）を石けんタイプに変更しました。

ほぼ強制する形になってしまいました。が、1-2ヶ月もちそうな量を購入し、実家にストックしてきました。

実家滞在時の私のアレルギー反応が軽くなることを期待しています。

合成洗剤を使って手湿疹になり、それ以来家中の洗剤はすべてせっけんをつけています。

お祭りで子どもたちが石鹼作りをし、頂きました。その石鹼をどのように使おうか迷い、なかなか使えていませんでしたが、先日キッチンに石鹼置きを買い、布巾を洗う際使う事にしました。只今実行中です。

元々体は石けんで洗う派の夫と結婚したことでいつしか私も同じく。そして、今回、この「あたしのせっけんアクション」を拝見し、キッチン、衣類の洗濯と意識的に石けんに切り替えてみています。

匂いが独特でちょっと、、、という気もしますが、洗浄力も高く環境にやさしいならこれからも石けん様(笑)に頼ってみようかな、と思ってます！

食育コンダクター養成講座で石けんの学習をしました。環境にとっても人体にとっても石けんが良いことを学びました。以前、食器洗いに石けんを使ったことはありませんでしたが、ぬめりが残ることで、それが気になり続けていました。今回の学習後、泡立てて使うことやすすぎ方などを変えてみたところ、ぬめりもなく、すすぎもキレがよくなりました。これなら続けられると思いました。そして、続けていきます。

シャンプーと洗濯を石けんにしました！

石けんと合成洗剤の違いが今までよくわかりませんでした。少しずつ見直していきます。とりあえず、子どもの泥汚れは、粉石けんに切り替えました。

以前使用していましたが、家族の反応がいまいちで使わなくなっていました。「環境に良いもの」を再度思い返し、買い置き石けんを使うことにします。

出産するときに里帰りしたので、実家で使っている洗剤ではなく、石けんに替えてもらいました。また、食器洗いは、普段やってくれている夫から石けんは使いづらいと苦情が出ていましたが、粉石けんをビンに入れてさっと振るだけでもいいからと伝えたところ、使いこなしてくれるようになりました。洗濯の際は、洗濯マグちゃんと液体せっけんを併用し、石けんの使用量を減らす工夫をしています。

余分な成分が入っていないシンプルな石けんは肌に優しく安心して使うことができます。洗浄力も高く、しっかりと身体の汚れや皮脂をとってくれるため、洗いあがりもさっぱりしていて、毎日の生活に絶対かせませません。

食器洗いの洗剤とハンドソープを石けんにしました。冬でも手荒れしにくくなりました。

合成洗剤を使用したくないので、手洗い用に石けんを使用しました。

きれいな地球を
いつまでも



■参加団体一覧（オンラインを含む、順不同）

生活クラブ生活協同組合北海道	重茂漁業協同組合
生活クラブ生活協同組合（岩手）	生活協同組合あいコープみやぎ
生活クラブやまがた生活協同組合	株式会社米沢郷牧場
生活協同組合あいコープふくしま	生活クラブ生活協同組合栃木
生活クラブ生活協同組合（埼玉）	生活クラブ生活協同組合（千葉）
特定非営利活動法人せっけんの街	生活クラブ事業連合生活協同組合連合会
生活協同組合パルシステム東京	生活クラブ生活協同組合（東京）
生活クラブ生活協同組合（神奈川）	生活クラブ生活協同組合（長野）
生活クラブ生活協同組合（静岡）	生活クラブ生活協同組合（愛知）
NPO 法人碧いびわ湖	生活クラブ生活協同組合（滋賀）
生活クラブ生活協同組合大阪	生活協同組合エスコープ大阪
グリーンコープ生活協同組合おおさか	生活クラブ生活協同組合都市生活
グリーンコープ生活協同組合ひょうご	グリーンコープ生活協同組合おかやま
グリーンコープ生活協同組合ひろしま	グリーンコープ生活協同組合とっとり
グリーンコープ共同体	グリーンコープ生活協同組合ふくおか
グリーンコープ生活協同組合さが	グリーンコープ生活協同組合（長崎）
グリーンコープ生活協同組合くまもと	グリーンコープ生活協同組合おおいた
グリーンコープかごしま生活協同組合	株式会社アーダ・ブレーン
エスケー石鹸株式会社	シャボン玉石けん株式会社
グループ「せっけんの家」	太陽油脂株式会社
藤沢市せっけん推進協議会	(株)丸壽阿部商店
特定非営利活動法人とうほく食育実践協会	生活アートクラブ
社会福祉法人みんなの輪	あいち生活協同組合
彩生舎	
あいち生活協同組合 活動グループ「らいふ倶楽部」	
生活協同組合連合会アイチョイス	生活協同組合アイチョイス岐阜
一宮生活協同組合	生活協同組合ナチュラルコープヨコハマ
やまゆり生活協同組合	空調技工株式会社
エコロジカルコミュニティあおいほし	
石けんビレッジ	

■会場周辺図



交流会会場への移動案内

伊達なおもてなし DUCCA 仙台駅前店
 仙台市青葉区中央 3-6-10
 フージェス仙台駅前ビル 3F

【徒歩】

仙台市福祉プラザから徒歩約 20 分

【地下鉄】

仙台市営地下鉄南北線「五橋駅」乗車、「仙台駅」下車、徒歩 1 分。 **南出口 1** を出て信号を北側に渡る。

JTB が入っているビルの西隣です。

またヤマダ電機からは東に 2 つ目のビルです。

▼福祉プラザから交流会会場



▼仙台駅周辺図



2024 シャボン玉フォーラム in ひょうご

知っとお?! せっけんで守れるもん あるんやで!
～安全で豊かな環境を未来の子どもたちへ～

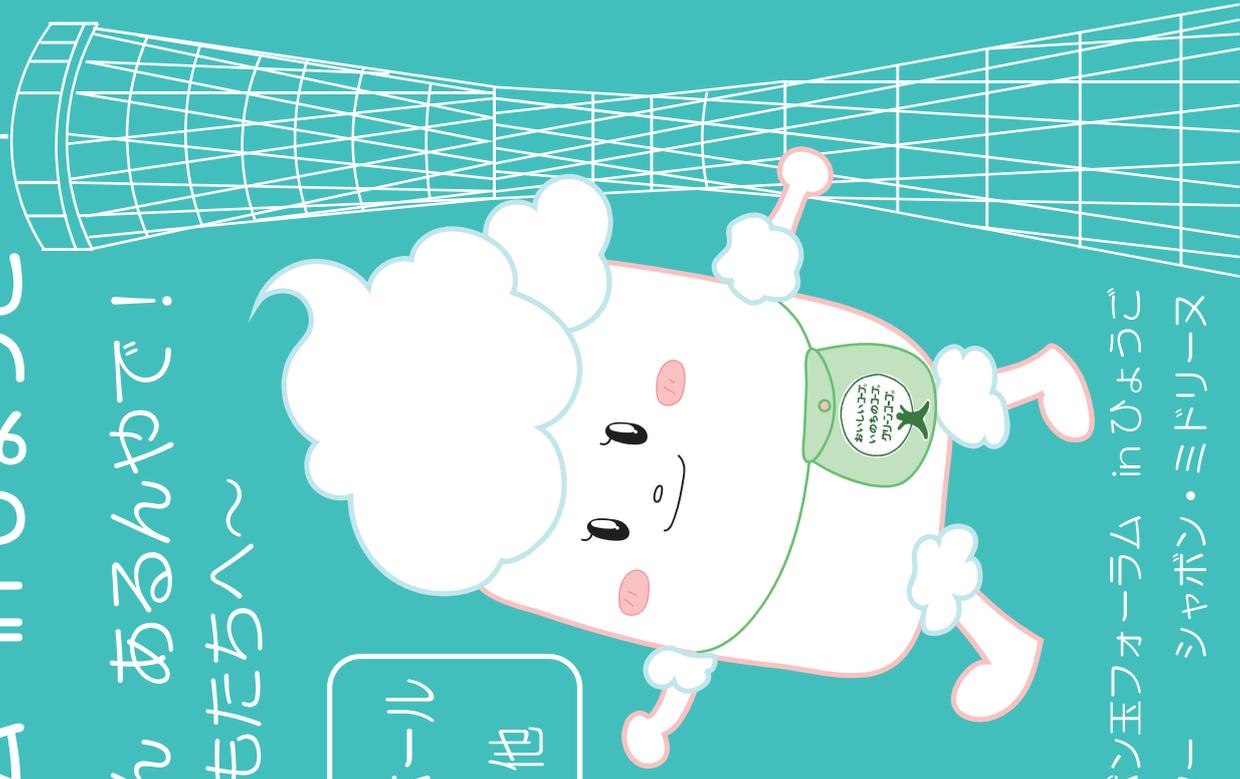
2024年9月28日(土) 神戸ポートオアシスホール
29日(日) オブショナルツアー 他

開催決定

ご来場をおまちしています!

グリーンコープ生活協同組合ひょうご
シャボン玉フォーラム実行委員会

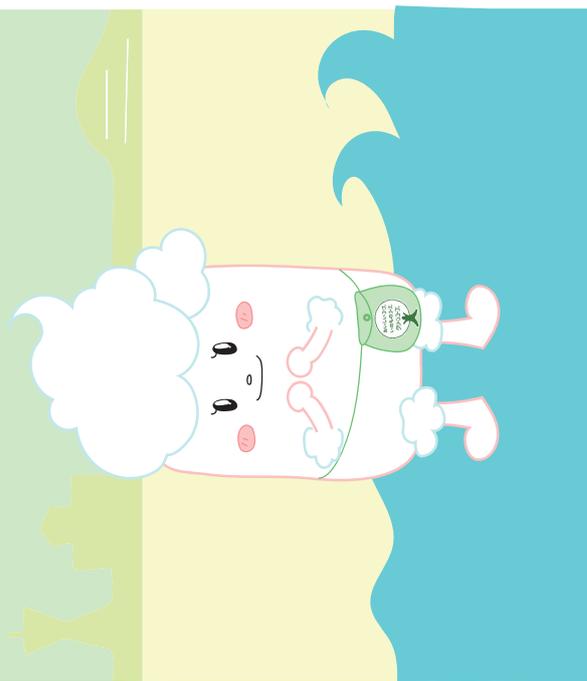
2024シャボン玉フォーラム in ひょうご
公式キャラクター シャボン・ミドリヌ



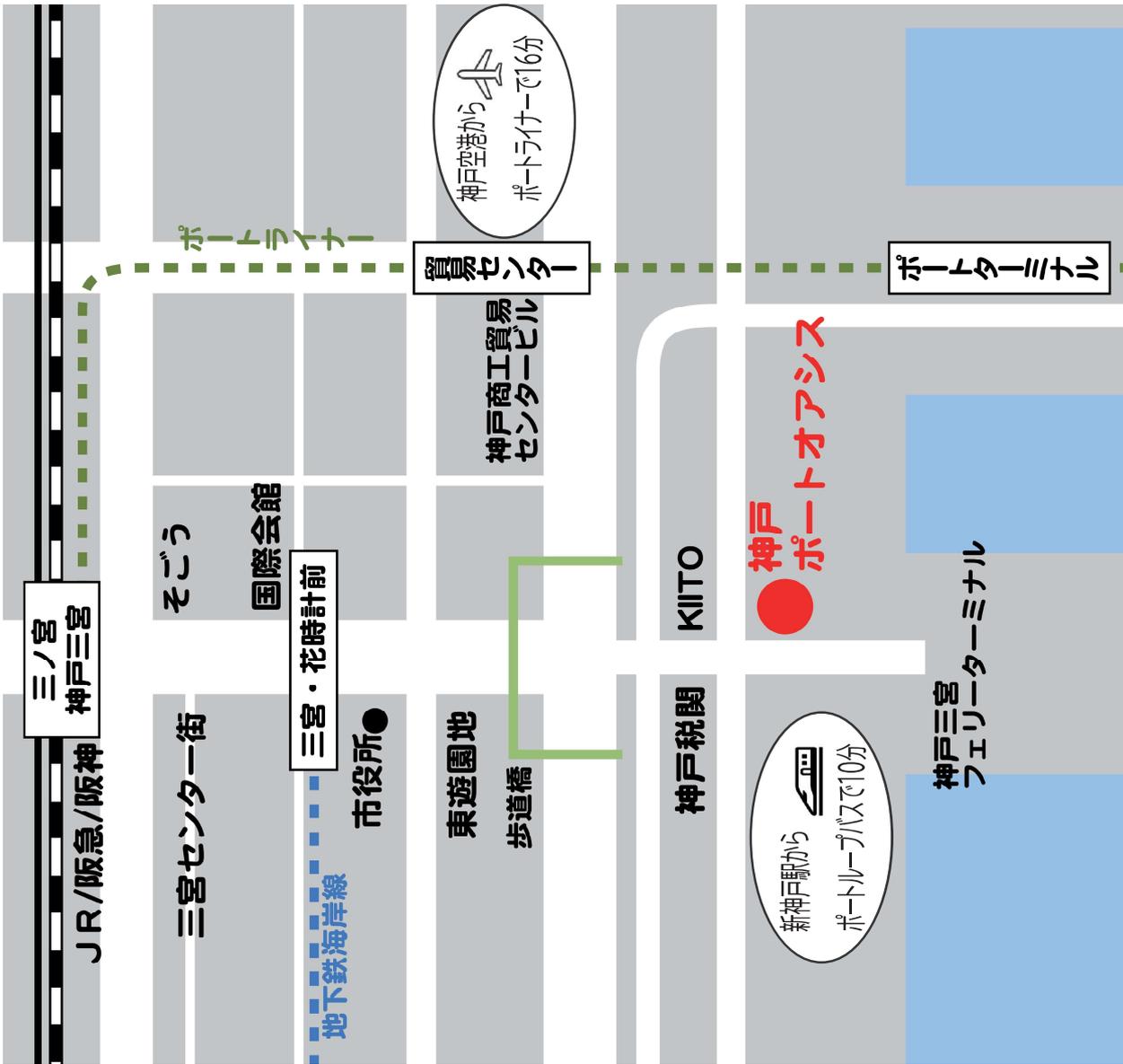
2024年シャボン玉フォーラム in ひょうご公式キャラクター

シャボン・ミドリーヌ

ポシエットにいつぱいせけんを詰めて
地球と子どもたちの未来を守るため
今日も、神戸の街を闊歩する...



お問合せ： グリーンコープ生活協同組合ひょうご組合員事務局
072-7777-7641



- 神戸三宮駅より徒歩18分
- ポートライナー
「貿易センター前駅」より徒歩10分
- 神戸市営バス29系統
「税関前」より徒歩1分
- ポートループ
「KIITO前」または「神戸ポートオアシス前」より徒歩1分

神戸空港から
ポートライナーで16分

新神戸駅から
ポートループバスで10分

神戸
ポートオアシス

神戸税関

KIITO

貿易センター

神戸三宮
フェリーターミナル

神戸ターミナル



■後援

- ・ 仙台市
- ・ 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
- ・ NPO 法人環境保全米ネットワーク

みやぎテレビ

 **仙台放送**

khb 東日本放送

tbc 東北放送



【交流会】



5団体からの活動報告、次回開催地のアピールなどを行い、4年ぶりに会員の皆さんと交流を深めることができました。

■会場参加の皆様と一緒に



ご参加いただきありがとうございました